

事業の概要

一般国道2号は、大阪市～北九州市を結ぶ延長約670kmの主要幹線道路であるとともに、広島都市圏の東西交通の骨幹を担う重要な道路である。
このうち西広島バイパスは、広島市中区平野町～廿日市市地御前を結ぶ延長19.4kmの道路であり、慢性的な交通渋滞の緩和や沿道環境の改善などを目的としている。

一般国道2号



西広島バイパス都心部延伸

(2号高架)



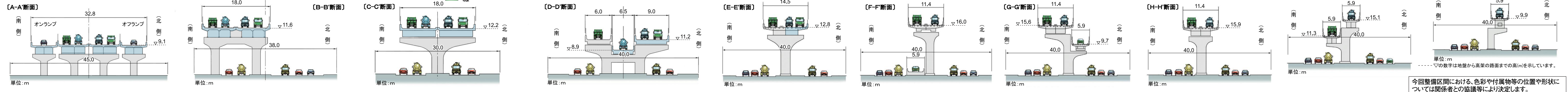
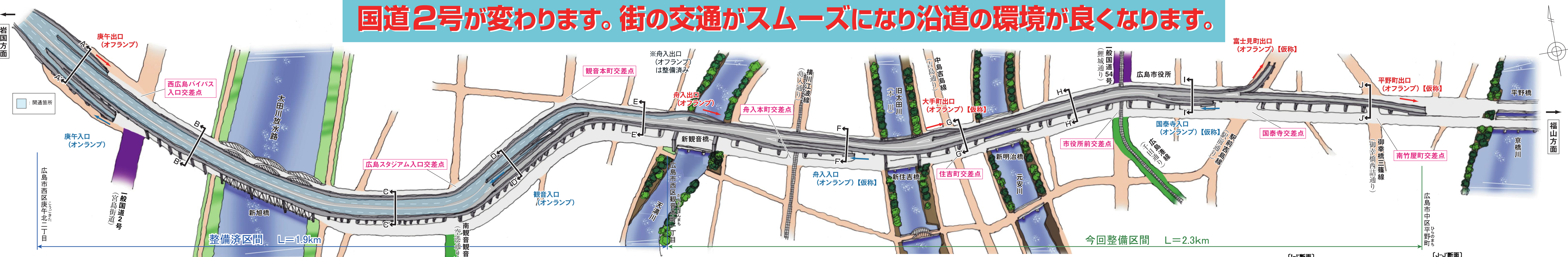
問い合わせは、
**国土交通省中国地方整備局
広島国道事務所**
〒734-0022広島市南区東雲2丁目13番28号
TEL(082)281-4131
<https://www.cgr.mlit.go.jp/hirokoku/>



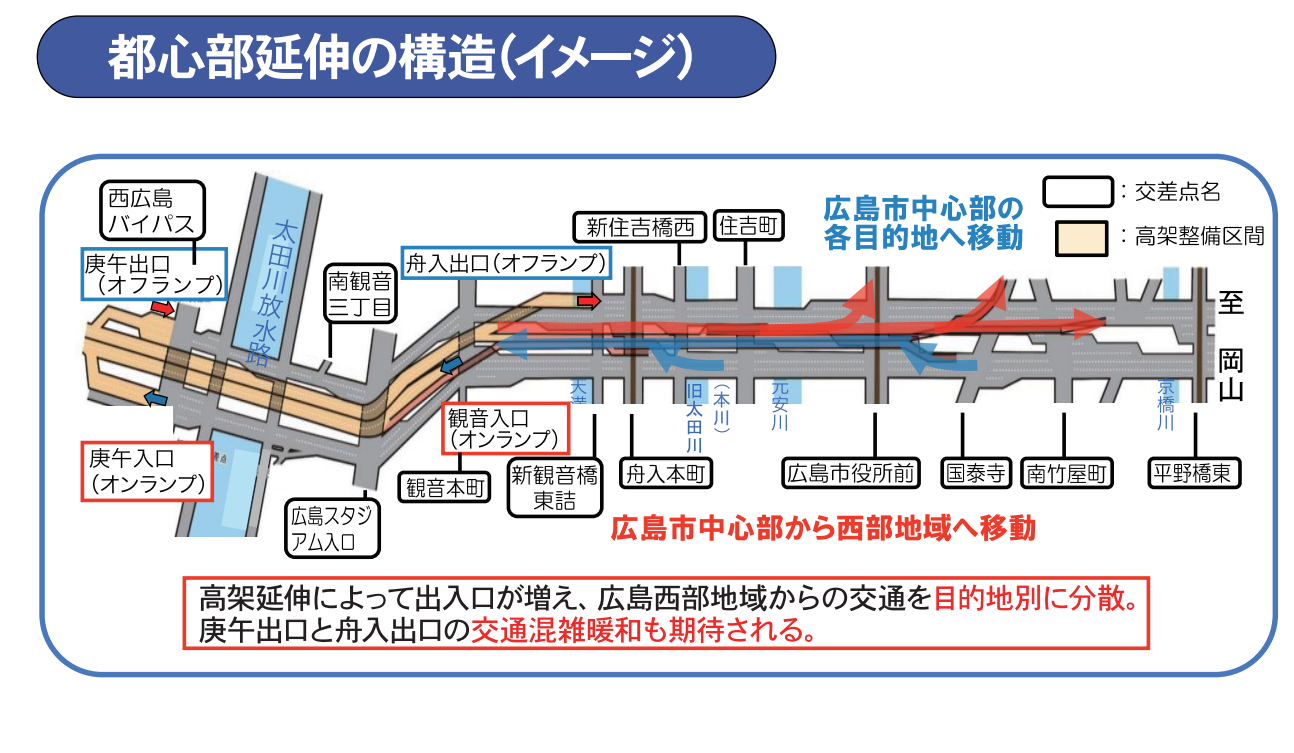
国土交通省中国地方整備局
広島国道事務所

出典：国土地理院撮影の空中写真（2024年撮影）

国道2号が変わります。街の交通がスムーズになり沿道の環境が良くなります。



計画概要	
名 称	一般国道2号西広島バイパス(2号高架)都心部延伸
区 間	広島市西区庚午北二丁目～広島市中区平野町
延 長	約4.2km(整備区間:L=1.9km 未整備区間:L=2.3km)
車 線	数2～4車線
設 計 速 度	60km/h
都市計画決定(変更)	平成6年8月18日(都市計画道路・青崎草津線)
工 事 経 緯	(庚午ランプ～観音ランプ) 昭和46年 工事着手(高架部2/4車線) 昭和49年 開 通(高架部2/4車線) 平成11年 工事着手(高架部4/4車線) 平成15年 開 通(高架部4/4車線)



「沿道の環境が現在よりも改善されます。」

沿道の騒音などが少なくなります。また、延伸区間では電線などが地中化されるため、電柱もなくなり、景観がスッキリします。

高架道路をつくれば、平面道路に通行する**大型車**などを**高架道路に転換**させることができます。この高架道路に対し、遮音壁、低騒音舗装など、環境をよくするための対策を行うことにより、現在の沿道環境を改善していきます。

道路構造対策

沿道環境が改善されるしくみ

- 高架部遮音壁**: 高架部に遮音壁を設置することで、騒音を低減させます。
- 裏面吸音板**: 高架部の裏面に吸音パネルを設置することで、平面街路部からの騒音を吸収し、反射音を低減させます。
- 中央分離帯遮音壁**: 街路部の中央分離帯に遮音壁を設置することで、騒音を低減させます。
- 低層遮音壁**: 街路部の歩道に遮音壁を設置することで、騒音を低減させます。

完成後

平面道路(国道2号)

低騒音舗装、高架部遮音壁、裏面吸音板、中央分離帯遮音壁

